

権力への告訴路線  
国鉄35万人体制「新マル生攻撃の先兵」  
動労「本部」反動分子を  
解体・掃きさらす

わが動労千葉は、「6・12津田沼事件」デッチ上げ「権力への告訴・告発」六名の仲間に対する不当逮捕・長期勾留・転向強要の取り調べ一三名の仲間へのデッチ上げ起訴攻撃「本部」反動分子による国鉄当局への全員解雇処分要求……という、動労「本部」反動分子「権力」一体となった動労千葉つぶし「解体」のついでに、約二十日間にわたる六名の仲間と家族を先頭とした一三〇〇組合員の総決起をもって闘いぬき、勝利した。この七月総決起の勝利を引きつぎ、「自らの運動的破産・路線的ゆきづまり・組織的じり貧の危機を権力への告訴と当局への処分要請をもつてのりきろうという断じて許せない路線」に転落した動労「本部」革マル反動分子と土屋一派を、今こそ、徹底弾劾・解体・一掃し、動労大改革「国鉄労働運動の戦闘的発展をかちとつていかなければならない」。

動労「本部」の告訴路線への転落に、まき起る弾劾！

今日、「本部」反動分子は、わが動労千葉の七月総決起の闘いの高揚と全国の闘う仲間からの批難・弾劾の闘いの前に追いつめられて、支離滅裂なものがれと反動的居なかりにきゅうきゅうとしている。いわく、「動労千葉は、もはや労働組合ではないから：」とか、「権力の謀略である三里塚闘争を闘う動労千葉は権力の手先きだ」、だから「権力の手先を告訴するのは当然だ」などと居なかつているのだ。しかし、今日、三里塚闘争を「権力の謀略」だとか「動労千葉は労働組合ではない」などとヒボウ・中傷する者は、権力以外には、革マル派と動労「本部」反動分子のみである。

動労「本部」反動分子が、「権力への告訴・告発路線」に走ったという決定的な反労働者の事実をぬりかくそうとした「本部」反動分子が全国大会はじめ、様々な機関を引まわしてデッチあげている「千葉動労弾劾決議」なるものにおいては、この告訴問題について一言半句も触れる事ができず、沈黙の逃げをきめこんでいる、あるいはいかなるいいわけや居なかりをしようにとも、労働組合としての最少限の原点すら完全に投げ捨て、ついに警察・国鉄当局と一体となって闘う労働者・組合を弾圧させ処分させていくという「告訴・告発・処分要請」路線にころがり込んだという重大な事実を、われわれは片時たりとも忘れてはならない。

この「告訴路線」を黙認「承認」する事は、わが動労を鉄労以下の「警察労働組合・当局御用組合」へと墮落させる道であり、「闘う動労」の死である。全ての心ある闘う仲間は、この醜悪な「告訴路線」に怒りを燃やし、弾劾し、今こそ「本部」反動分子一掃「動労大改革」にむけて闘いぬかなければならない。

動労「本部」反動分子の数々の反労働者の裏切り行為

動労「本部」反動分子の「告訴路線」にまでゆきつくこの数年間は、文字通り、裏切りと屈服、反動的暴力を背景とした公然たる敵対の歴史であった。

① 反合同闘争放棄「国鉄35体制推進の先兵

国鉄35万人体制攻撃の突破口である昨年の「55・10ダイ改」に対し、動労「本部」は、全国闘争を完全に放棄よししたばかりか、乗務員運用合理化攻撃に対し、ただただ自派のセク特的利益を得るために、「協定外要員のほき出し」「新幹線職場での動労職場の拡大のため」などとペテンを使って東京三局において卒先して認め、しかもその条件として「千葉局でも十一月一日から実施すること」を当局に要求するという極めて破廉恥な反労働者の裏切りを行ったのであった。

かの「貨物安定宣言」にはじまる彼ら反動分子の反合同闘争の放棄と裏切りは、今日では「国鉄の営業政策への積極的提言」などと、とめどもない国鉄35体制推進の先兵となつてしまつているのである。

② 「職場管理・規律の厳正」要求「新マル生攻撃の先兵

津田沼電車区で顕著に示されている転び屋・革マル分子「嶋田誠」をはじめとする「本部」反動分子が卒先して当局に対して「勤務の厳正」「職場管理・規律の厳正」を要求し、動労「本部」国鉄本社間の正式団交においても「本部」側から要求するという文字通り国鉄新マル生攻撃の先兵となつているのである。

③ 81・3ジェット闘争へのスト破り「闘争破壊の先兵

わが動労千葉が、80年代労働運動の戦闘的再生と組織の命運をかけ、三里塚農民との連帯をかけて81・3ジェット闘争五日間ストライキに決起したことに対し、「本部」反動分子は、「目的のないスト」「組合員に犠牲を強いる無意味なスト」として公然と国鉄当局「助役機関士と一体となってスト破りを指令し、スト破壊に全力をあげたのであった。彼らは完全に当局の犬となつて「TV、軍手・傘」をエサに労働者の魂を売り渡して「あたり前の労働運動の定着」とうそぶき、自らのスト破り行為を居なかつているのである。

われわれは、このような「権力へのデッチあげ告訴」「スト破り」「合理化協力・推進」「職場規律の厳正化要求」「新マル生攻撃の先兵」として全面的にその反労働者性をむき出しにしている動労「本部」反動分子を一刻も早く国鉄労働運動から追放・一掃し、動労大改革へ一歩前進しよう。